

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	りゅうのまーけっと開催事業
事業主体 (連絡先)	りゅうのまーけっと実行委員会
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,149,000 円 (うち支援金: 861,000 円)

事業内容

- ・天龍峡には四季折々で魅力的な場所があり、場所を変え毎週日曜日に朝マルシェを開催する。月に一回程度で季節の企画、特徴を出したマルシェにする。
- ・季節の食、地元産の食をいかしたイベントを開催する。
- ・和遊楽を秋と春に開催する（秋は新型コロナウイルス感染症の影響を受け開催直前に中止を決定。春は規模を縮小して実施）



【地域内での巡回型移動販売】

事業効果

- ①マルシェを27回開催し、出店数はのべ256店平均10店舗、集客数60～150人、各店の売上は5000円～15000円、生産者と飲食店の繋がりもできた。リピーターも増えコミュニティの広がりを感じてる。
- ②地元住民や近隣市町村からの集客も見込めるようになり、月ごと場所を変えることで、天龍峡の魅力発見や遊歩道散策する方も増えた。
- ③地元産野菜、山菜など使い、飲食営業4店舗共同でお弁当作り、食から魅力発信するとともに、飲食店同士の横のつながりができ限定30食完売。
龍峡亭を中心に地元作家が集まり、若者の伝統文化への新たな挑戦する場となった。

【目標・ねらい】

- ①コロナによる飲食店支援と地域コミュニティの構築をはかる。
- ②近隣市町村へ天龍峡のPR、天龍峡の魅力発信し認知度を上げる。
- ③ 天龍峡の資源の活用と伝統芸能、古典文化の継承

※自己評価【 B 】

【理由】
 新型コロナウイルス感染症の影響下の中、りゅうのまーけっとに関しては予定していた効果が得られた。
 複数の事業者が協力して移動型販売を行い、地域内の生産者や事業者が新たな販路を確保できた。

今後の取り組み

- りゅうのまーけっとは、天龍峡駅周辺の公共空間等を活用し以下の取り組みを行う
- ・近隣市町村へ天龍峡のPR、天龍峡の魅力を発信し、貴支援金事業と当事業の認知度を上げる
 - ・生産者や飲食業者の新しい販売方法としての機会を提供する
 - ・消費者と生産者、生産者と飲食業者を繋げる場所とする
 - ・「森を食べる」を継続し、地域レベルでのスマート・テロワールを拡大する（長野県農政部は2017年にスマート・テロワール構築のための「地域食糧自給圏構築」事業を始めた）
 - ・若年世代のアイデンティティの礎となる、地域伝統芸能に関するイベントを継続して行う
 - ・認知度の向上の為、天龍峡公園のライトアップ、クラフト市等の他イベントへの参加を検討する
 - ・その他、今年度実施できなかった事業は、天龍峡公園を活用する新しい取組として来年度以降に行う